

## ■著者紹介

### 宗田貴行（そうだ・たかゆき）

獨協大学法学部教授・法学博士

慶應義塾大学法学部卒業（1996年）、慶應義塾大学大学院法学研究科単位取得退学（2003年3月）、奈良産業大学法学部専任講師・助教授、獨協大学法学部准教授を経て、2020年4月1日より現職

経済法、消費者法、民事訴訟法専攻



著者近影

ドイツ・ザールラント大学留学（1999-2000年）（DAAD奨学金）

公正取引委員会「団体訴訟制度に関する研究会」会員（2005年）

経済産業省「迷惑メール規制に関する技術的論点WG」会員（2007年）

日本民事訴訟法学会理事（2013-2015年）

ドイツ・マックスプランク研究所（外国私法・国際私法）客員研究員（2018-2019年）

#### 〔主要著作〕

『団体訴訟の新展開』慶應義塾大学出版会（2006年）

『迷惑メール規制法概説』レクシスネクシス・ジャパン（2006年）

『独禁法民事訴訟』レクシスネクシス・ジャパン（2008年）

『消費者法の新展開』慶應義塾大学出版会（2009年）

『消費者団体訴訟の理論』信山社（2021年）

『行政処分による消費者被害回復の理論——EUデジタルプラットフォーム規制の考察と我が国の課題』法律文化社（2023年）

#### 〔受賞歴〕

電気通信普及財団第21回テレコム社会科学賞奨励賞（2005年）

公益財団法人公正取引協会第35回横田正俊記念賞（2020年）